

晩年

D・A・N 通信

No.6

2023.8.21～11.20

団 士郎

この秋はオーディブル(Audible)三昧だ。Amazon が提供する朗読サービスで、月額 1500 円。加入したことを二ヶ月ばかり忘れていて、取り返さなくちやとメニューを検索。既読本もたくさんあり、なかなか同じ本を二度読む時間はないなあと思ったことがあったので、「嫌われた監督」二度目を朗読で聞いてみた。標準速度で 14 時間、結構長いので 1.2 倍速で聞いてみたのだが、読んだ時とは異なった感想があり、やはりまた強烈に面白かった。こんな楽しみ方があるんだと思った。「じんかん」は今村翔吾の本を次々読むきっかけになった一冊。すでに読んでいる小説だから、全体の物語より、部分の展開に深く感じ入るのが快感で、二箇所ほど涙が。

既読ものを聴くのがベストな気がしていたが、書店では絶対選ばない本が、心に沁みる一冊になったのは「百年の子」。学年別雑誌出版のことは、昔児童文学に関心を持ったことがあって、その研究者の著作で知っていた。年齢毎の出版は、早く大人になるのが目標の諸外国の子ども文化との大きな違いだという記述に感動したことがあった。そんな出版界の昭和、平成、令和の物語。●情報として知っていたことではあるが、派遣労働の問題は、なかなか身近なこととして届いてこなかった。それを小説にして、昔の「自動車絶望工場」鎌田慧著より、もっと絶望的な今の日本の非正規労働現場を描き出した「ガラパゴス」は警察もの。グングン聴き続けてしまった。●池井戸潤「BT'63」も面白かったが、●皿良ゆう「汝、星のごとく」がいい。読ませる物語だから朗読にフィットしている。作り置きカレーを調理しながら、洗濯機を回しながら物語は佳境を迎える。●三浦しをんは「舟を編む」しか読んだことがない作者だが、「墨のゆらめき」には手が出た。書店での選書行動とは一線を画していて、図書館でのそれに近いかとも思うが、少し違う気もする。●「三河雑兵心得」はシリーズで現在第 11 巻。●そして村上春樹「辺境・近境」は、持っていた気もするし、図書館本を読んだ気もするが面白かった。

結果的に本との時間は増えた。書店購入のペースは落ちないが積ん読は増加気味。近年、本の価格が徐々に上がりはじめていて、2000 円台後半のものが普通になってきている。1980 年代の値段を見ると 1500 円くらいの本も少なくないから、卵並に値上げしなかったモノがもう我慢できなくなったのだろう。



8月●日

昨日は久々の修善寺温泉泊後の伊豆市WSだった。会場の窓外は川辺の桜並木。前夜泊まった東京・神田のホテルは素泊り14500円。昨日のここは、二食付いて驚きの12,000円だった。値段なんてあってないようなものなのか？一人食事しながら、三河雑兵心得5をきいている。静岡県が舞台だ。



8月●日

原作の記憶からだいぶ遠ざかった感じがしたので、映画「ザリガニの鳴くところ」を再見してみた。とにかくノースキャロライナの湿地帯が美しい。自宅の大型TVでBDの映像を見ていると水辺の緑の美しさのため息が出る。そしてこれは本か映画か、どちらかだけにしておのがいい作品なのかなと思った。



8月●日

昨晩はzoom講座第4回を自宅で実施後、マガジンの締切日で届く原稿の対応を深夜まで。

今朝はサンダーバードで明日のWSのため能登半島七尾に行く。車中は到着のマガジン原稿のチェックなど、編集者仕事。

先日治療したのに右下奥歯が痛む。そんなものを抱えていると能率が悪い。月曜に歯科予約をとる。



8月●日

歯の具合が思ったような心配はなさそうな治療で済んだ。そこで、午後からまるまる空いた今日を、この日にした。ほぼ、タイトルしか知らずにジブリアニメを観た。観る前のハッキリしない予想以上に面白かった。何を観たのかは自分が決めればよいこと。



9月●日

宮城県亘理郡山元町に来ている。東日本大震災家族応援プロジェクト。東北に通い始めて13年目。今回の中浜小学校は初めてだ。仙台の荒浜小学校、石巻市大川小学校は訪れたことがある。児童が亡くなった場所と、みんな

なで助かった場所では、ずいぶん印象が異なるが、紙一重の出来事だったのだ。



9月●日

フィールドワーク、時々覗く仙台メディアテークに立ち寄る。ここは面白いものがいろいろある。みやぎ民話の会の方に話を伺い、昼の持ち寄り昼食をご馳走になる。強飯、茄子、トマト美味しい！

多賀城に移動し長いお付き合いの方達と歓談。末の松山のすぐ側の民家の外壁に津波痕跡が。夕景



9月●日

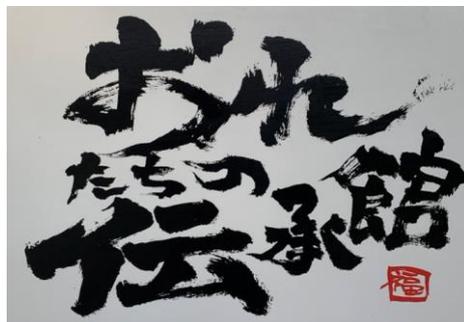
福島県白河市でプロジェクト、プログラム実施。ここで私の分担は、漫画展と漫画トーク。三年目になる。福島はまた、汚染水、処理水話でニュースの渦中に。そしてしばらくすると忘れてしまう世間。



9月●日

大雨の中、まず宝鏡寺伝言館へ。安齋育郎館長が待っていて下さってお話を伺った。日本の原子力黎明期に学び、反原発に転じていく向かい風人生は興味深い。

その後、南相馬の「おれたちの伝承館」へ。ここでも館長の中筋氏と話す。この人の写真集を持っている。



9月●日

遠征最終日。いわき湯本の古滝屋のバスで13年目の被災地を回る。地域による違いがより顕著に。五日間の遠出は流石に負担な気もするが、写真を見るとよく食べてまた太ってきている。小太り長生きと思って良しとしよう。常磐線の駅から特急乗り継ぎで関西に戻るなんて旅を、東日本大震災まで想像したことがなかった。



福島第二原発

9月●日

東北から戻って直ぐ、コロナ陽性で日曜まで自宅蟄居中。WSも一つ飛ばしてしまった。熱が下がってもダラダラしている時、audible がとても快適だった。すでに読んだ本の再読ではなく初聴。印象も新たに楽しい。目を閉じて、横になって聴くのはおすすめ。

よくしたもので、ちゃんと薬飲んで五日間、完全回復のようだ。この間、スピーカーが風呂場で寝床で、足元で大いに役に立ってくれた。



申込んだのを忘れていた野菜宅配の中に、プルコギセットが入っていたので生まれて初めて作って食べて。写真とはちょっと異なったが美味しかった。



9月●日

本格再始動の今日。昔は京都会館第一ホールと呼ばれた現在、ロームシアター京都のメインホール。久々に舞台からの景色を見た。ここでは30年ほど前に、森久美子さんと対談したことがある。あの時は少し緊張していた記憶があるが、それももうなくなって、ボソボソと歳に合わせ気味に話してみた。

9月●日

10時に展示準備開始して、10時半にはこの仕上がり。掛け軸は簡単できれいに扱える。ここは壁面がスチールなので、マグネットフックが使える、穴一つも開けない展示。



西日本児童養護施設職員セミナー、二日目分科会場、同志社大学良心館、廊下にて。

9月●日

表紙絵を担当して10年ほどにもなる家族心理学会年報が届いた。今年はこちら。書店でご覧ください。



9月●日

MUJI 山科店で早目の夕飯を食べてお茶。「本の雑誌」を読みながら、目についたものを Amazon でポチる。読む速度は買う速度には追いつけない。諦めている。

今週はほぼ仕事場に居座ったので、久々の帰宅。結果、新しい本の原稿が順調に増えている。家の玄関には置き配の荷物が多分あるな



9月●日

今年の東日本家族応援プロジェクトの締めである会合に立命館大学茨木cに向かう。ところがJRがまたしても人身事故で京都-吹田間で運転見合わせだと。

zoom 併用開催だから、京都駅付近のどこかで対応するかなあ。皆さんそれぞれの予定、くるっただろうなあ。



9月●日

近年、一緒に東日本家族応援プロジェクトに通いつけている鶴野祐介さんから本を2冊いただいた。「うたとかたりの人間学」の第一部は、対人援助学マガジン連載のものだ。こういう繋がりはとても嬉しい。今年2月、脳梗塞で倒れ、入院、リハビリを経て復帰する様子があとがきに記されていて沁みる。



9月●日

気になっていた映画「福田村事件」を観た後、遅いランチをしながら1500円のパンフレットを読んだ。そして映画を観ただけの感想より面白くなった。想いをどこまで込めるか、分かって貰いやすくするための工夫は？最近、本作りで独言している事が、製作者達によって論じられていた。お薦めです。

9月●日

友人のNと恒例の一日ドライブ遠足に。例によって朝7時に仕事場に迎えに来てくれる。彼のような年寄りの早起きは夜更かし老人の私には寝入りばなだ。ピックアップされて奈良の山中に。随分奥まで乗り入れて、ここから1.8キロの標識に即挫折。国道の表示から水平社博物館に。昨日の映画に、水平社宣言が登場したところだ。



9月●日

こんなに暑いのに間もなく10月！2023年はあと三ヶ月。一年がバタバタの中で飛んでいく。間違いなく残り少ない人生なのに。昨日、これを読み始めたら、思いがけず楽しい。



9月●日

広島で年一度のWS。リピーターの参加が多いからか、最近のライブプログラムでは稀なほど笑い声が続いた。ウンウンうなづいて貰えるのも嬉しいが、笑いはいい。最近、中身が真面目になりすぎている。大笑いしてもらおうと快感だ。昔を思い出した。終了後、食事会でも大いに語る。やかましいジジイだね。

10月●日

広島に来たのだからと一泊して、旧友Oさんと会う。この一年余の身の上の変化のことなど、お互い共通することが多く、話したすと止まらない。お茶して、ランチして、またお茶して五時間半。楽しい。

10月●日

広島から戻って、新作のペン入れを再開、無事完了。明日仕事場のPCのPhotoshopで読み込んで、完成原稿にする。週末の2日間がとても楽しかったので、疲れもなく、まだまだ活動できる気力の23時前。仕事はもうやめておこう。

10月●日

なぜか気になっていて、レイトショーの時間を調べて、これを観に行った。静かでない映画だった。そう思わない人が言いそうな悪口が想像できて、そこがちょっと鬱陶しい。べつに誰かに何かを言われた訳ではないのだけど。終わってからやよい軒で遅い夕飯。一人は気楽だ。



10月●日

こんな晴天の日に青森県弘前市岩木の公民館で家族理解 WS。昨日夕刻、青森に来て、今夜は帰宅というスケジュール。半年に一度、20年以上、弘前市には来ていて馴染みになっている。初参加も三分の一ほどあって有難い。明日は朝から京都で家族面接を見る予定。移動中のオーディブルが相変わらず楽しい？

10月●日

草津の家族勉強会'23 秋冬。コンスタントに人が集って20年以上、月例会で続いている。初回は結局、二時間半、好きなように喋ってしまった。草津駅前は都会だ。県庁所在地の大津駅前よりキレイだ。ジュンク堂もあって、この現物が平積み。そりゃ、手が出るわなあ。



10月●日

スタッフのHさんが自宅にきてくれて、むつ漫画展の作品選択とパネル発送業務を。続いて11月の草津展、広

10月●日

島展、摂津市展の作品を選択。整理中、戻っていない掛軸が4点あることが判明。仕事場においたままなのか？

関西エリアの新しい空間で、漫画展の開催可能性をあれこれ話す。



10月●日

大事件だ。掛軸が四作品、行方不明なことが判明。昨日整理して、展示経過を辿ったら、先月同志社大学で漫画展した後、仕事場に持ち帰った分の半分が見当たらない。他に貸したりしたかなあ。この頃ボケてきているのか、心当たりが全くない。またどこから、突然出てくるのだろうか。



10月●日

京都の中でも滅多に来ない場所。昔のミヤコホテル、いまウェスティン。蹴上のこの辺りを散策することはあるが、ここに入ることはほぼない。KISWECの50周年記念パーティーに顔を出す。「おや？手帳のメモ転記ミスか？開始は11時半らしい。11時のつもりでスケジュールしていた。まあ、こんな時間も珍しいから、それもまたいい。たくさんのお出席者だ。その後、明日からの準備。夜はzoom講座。明朝は早い。



10月●日

「夜の大捜査線」なんて相当古い映画タイトルだが、とにかく紛失掛け軸発見に喜んだ翌朝、伊丹空港にきた。

JR、空港バス、ANA、いずれの乗り継ぎ交通機関も順調のようだ。そんな当たり前のことが意識化されるほど、不測事態連発の近頃ということか。

10月●日

札幌ワークショップは明日。前日、早めに出て機会を狙っていた白老町のここに。アイヌについてほぼ知識はないに等しいと思っていたが、子どもの頃は「コタンの口笛」とか、「イヨマンテの夜」なんて世間に広く知られるほどには時代的话题になっていたのだった。小説「熱源」、再読するか。



10月●日

こんな大きな実がなっている。我が家にあるのだから知っているはずだが、わからん。毎年なっていたのかな？これはなんだ？(果林だそうです)



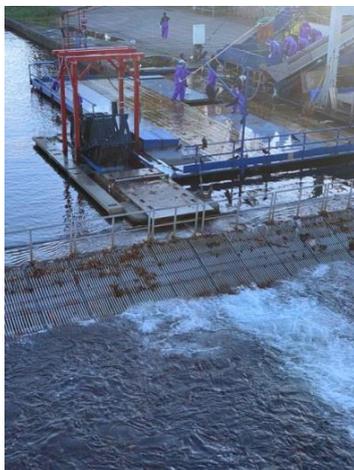
10月●日

札幌 WS、無事終了。言いたいことを言っていて、受け止めてくれる人がいる幸せ。終了後は8人で会食。そこでも楽しく盛り上がる。20時前に終わったので、ホテルのスタバでアーモンドラテ。札幌はこんな装束の季節になっている。



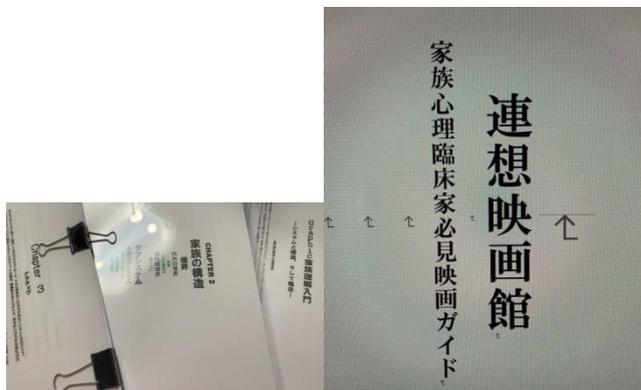
10月●日

北の大地、千歳周辺はいろいろな命に溢れた秋である。満喫！



10月●日

昨夜はホンブロックラブの漫画トーク開催。時間が取れると新刊の原稿作りをする。着々と枚数が増えていく。同時に書いたものの読み返し、加筆修正もする。他にもまとめた一冊があって、こちらは個人的な趣味。家族療法学会誌に10年連載していたもの。



10月●日

夕刻、広範囲で荒れた天気だと予報で言っていたが、大津も雨、あられ、雷鳴も聞こえる。いずれ仕事場に移動をと考えているが、何時に出かけなければならないものでもないの、酷いなあと呟きながら窓の外を眺めている。毎月の新作、下書きに取り掛かる。

10月●日

年2回、初夏と晩秋に「亀岡のアウラ学びの森」で話すようになって四年。家族にまつわる物語、何を話すかは勝手に決めて二時間。聴き手にすぐ役立つような話ではなく、私の考える家族に関する教養講座。どう聞けるかは聴き手に属する事だ。修了後、K君が連れてってくれたここが美味しかった。



10月●日

最終年五年目になるフォスタリング講座が今回はzoom開催だった。13時～16時20分まで、家族の話をも漫画を使ってあれこれ話した。帰路の無印良品カフェで夕飯。鮭ちゃんちゃん焼、鶏肉、柿の酢の物、ニンジンとスルメイカの和物。なんでも美味しく食べる。帰宅して今月の木陰新作下書き。



11月●日

自宅でも、火と11月中の漫画展(三カ所)への発送梱包や伝票作り。合間に家事を片付けながら、文字原稿の校正したり、新作漫画のペン入れを済ませる。自炊は全く嫌ではないが、材料を余らせたくなくて食べすぎる問題。作り置き可能なメニューは偏る。この後のPC作業は仕事場へ移動してから。



久々に堤未果さんの著書をオーディブルで。面白く非常に興味深い。そうだろうと思って現地を見たことや考えたことが、事実や数字で示される。人間はそういうことをするんだよなあと思うことの連発。弱虫なのかもしれないが、権力から遠くで生きてきて良かった。そこで出来ることをする。



11月●日

突然気がついた。昨日が11月1日だと思い込んでいた。なぜか分からないが、今の今まで11月2日の予定で動こうとしていた。朝のニュースで11月1日だと言っているのを見て、変なことを言うなあと思っていた。ボケた思い込み！気がついたら急に一日得した気になった。どんだけポジティブなんだ！

得をした1日だと記憶に残そうと、長い映画を見に行っただ。「キラーズ オブ ザ フラワームーン」3時間26分あったが、トイレに立ちたくもならず見終わってしまったから、面白い映画だった。変な評価基準だが。実話ベースのアメリカにありそうな話で、この姿勢は今もあちこちでやってくる。



11月●日

昨日は大昔、大学院の社会人入学生だった人が話しにきた。その後大活躍だから喜んでいて、「あの頃、私の勤務後の夜、遅くまであれこれ話してもらったの覚えてはりますか？」と問われた。昔のことは忘れていないよ、忘れるのは最近のことだ。

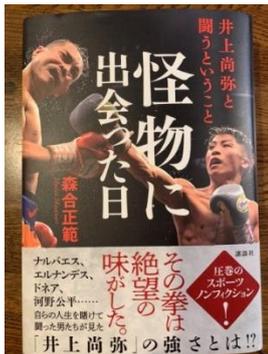


この本が素晴らしくて、オーディブルで聴いた後、本を
求めることになりそう。

11月●日

昨日、帰宅時の街は、三連休かあとと思われる人出だっ
た。だから自宅で作業でもしようと思っていたら、夜半から
鼻喉がグズグズする。

検温してみたら微熱がある。そういえば金曜の夜の
zoom 講座後、声が引かかったので、ひとりで話そうとし
てみたら声が出ない。これを読み始めているのだがファイ
トが出ないので、余り調子よくない。



11月●日

四日ぶり位の外出。なんかフラフラする。微熱は出なくな
って鼻水が残るくらい。歳と共に回復力が低下することを
実感。それでも動いておこなくちやと思ひ、におの浜の
TSUTAYA まで。カフェで新本の執筆校正。さあ、明日か
らは少し予定があるからちゃんと動いてよ、カラダ君。



11月●日

広島に行って学会参加して、マンガ展をする予定で掛け
軸も発送済みだった。なのに、いまいち体調がかんばしく
ない。かかりつけ医に行ったら三種類の薬を処方された。
そしてますますしんどい感じが抜けなくなった。その結
果、今回の遠征はパスすることにした。JRもホテルもキャ
ンセルした。こういう作業は便利な世の中になった。三日
間、ゆっくりしよう。

京都市役所がこんな風に、プロジェクションマッピング。



11月●日

体調回復期間が長引いている。もう咳が残る位なのだ
が、マスクをしても、人前で咳き込むのは凄いストレ
ス。コロナ前には「風邪ですか？」くらいの事だったのだ
が、今では電車内で咳き込んだりすると身の置き所がない。
健康も正論も良いのだけれど、暮らしにくくなってない
か？「咳ハラ」だと言ったら、どこかでうけた。



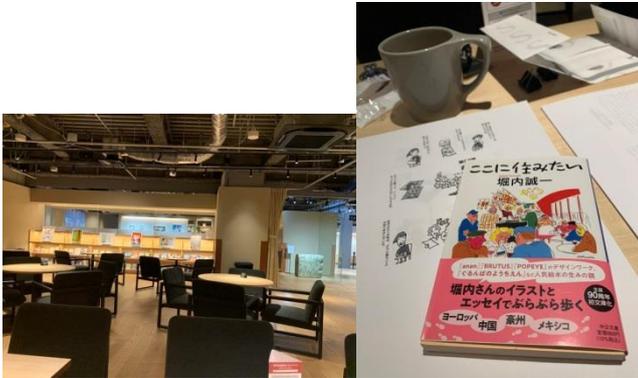
11月●日

だいぶ調子が戻ってきた。今夜の zoom プログラムの最
終準備をして、金曜日の zoom 講座の仕上げもする。土
曜日は東京・品川の東京海洋大学を会場に家族理解W
S東京だ。慎重に声を潰さないように頑張る。



11月●日

ようやく回復。久々に街に。高島屋の上に蔦屋書店が登場。ここがかなりビジュアルものに偏った書店で楽しい。そしてHさんから話は聞いていた有料ラウンジ。文庫を一冊買って、一時間の滞在。新刊原稿の校正。静かであつという間に時間が経つ。



11月●日

新幹線京都駅に来る時間がドンドン早くなっている。今朝も発車一時間前には待合室に。乗継在来線の遅れが心配だからだ。

昔、JRは時計並みに正確だった。世界を旅して、そんな事は普通ではないと気づいた。福知山線の事故があった後、安全確認遅延や線路内立入情報が増えた。並になっただけだ。今日は無事。



11月●日

昨日は東京品川で家族理解 WS71 回目。15人で楽しく六時間。最近気に入っている蒲田界隈にホテルをとった。今朝は朝寝して何か面白そうなものがあれば覗いてと思っていた。だが、食指の動くものがなかった。山手線で恵比寿の東京都写真美術館をのぞいてみようと思いきや動き出したのだが、車中のスマホで調べたら興味のある展示じゃなかったの引き返した。結局指定より早目ののぞみで帰宅することに。車中はこれを読む。

メールで届いた玄関先の置き配写真を見ると気がせく。掛け軸漫画数点を気軽に持ち運べるよう、カメラマン三脚用のバッグを購入したのだ。はたしてピッタリの優れものチョイスだった。

国土郎様、
ご注文商品の配達が完了しました。



11月●日

仕事場に向かう道すがら、季節になると綺麗ななあ眺め続けてきたよそ様の木蓮がこんな姿に。これで大丈夫なのだろうか？植木のことは無知だから心配。

花が落ちたら掃除が大変と、我が家の白木蓮にいつも思いが飛んだ風景が大変化だ。落ち葉や花びらはゴミじゃないから・・・と思いながらパチリ。家の主が歳をとったとか代替わりしたとか、お掃除していた奥さんが寝付いたとか、根拠ない妄想と共に通り過ぎる。

